



# 2015年3月期第3四半期 決算説明テレフォン・カンファレンス

2015年2月6日  
日本写真印刷株式会社  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

## 本日のポイント



### 2015年3月期 第3四半期(10~12月)の実績

- 売上高・経常利益・四半期純利益は過去最高を記録
- デバイスの製品需要が増加、為替は想定より円安で推移
  - デバイス： タブレット向けの需要はQ4から前倒し、生産効率を高水準を維持  
ゲーム機向けの需要は堅調に推移
  - 産業資材： 自動車・携帯電話が堅調、営業黒字に転換

### 2015年3月期 通期の見通し

- Q3の業績上振れにより、通期業績予想を上方修正
  - Q4の為替前提は¥115/\$に変更
  - 期末配当を増配(5円⇒10円)の予定
- Q4(1月~3月)はタブレット向けの製品需要は季節要因により減速
  - デバイス： Q3の前倒しにより需要減少、製品単価は下落(円安効果の調整を含む)
  - 産業資材： 自動車・家電を中心に堅調、下期を通じて営業黒字を予想

### 2016年3月期に向けて

- 既存事業において不採算セグメントの整理を2015年3月までに完了
- デバイス事業で積み上げたキャッシュにより、M&Aを活用した成長戦略を加速
  - 直近の事例： 産業資材は自動車分野の拡大のため、垂直統合を加速(メキシコで自動車部品成形会社を買収)

# 2015/3期 Q3累計

Trend Meets Technology



## デバイスが業績を牽引、営業利益率は10%超

2015年3月期 第3四半期累計(4月～12月)経営成績

(百万円)

		2014/3期 Q3累計 実績	2015/3期 Q3累計 実績	前年同期比 (2014/3期Q3累計比)
売上高		87,127	95,722	+9.9%
営業利益		2,920	10,359	+254.8%
	(営業利益率)	(3.4%)	(10.8%)	(+7.4pt)
経常利益		6,396	14,439	+125.8%
四半期純利益		5,507	12,442	+125.9%
事業別 売上高	産業資材	20,456	20,660	+1.0%
	デバイス	53,568	61,315	+14.5%
	情報コミュニケーション		12,981	
	その他	13,101	765	+4.9%
事業別 営業利益	産業資材	38	▲514	-
	デバイス	6,396	14,254	+122.9%
	情報コミュニケーション		▲559	
	その他	▲705	▲175	-
	調整額	▲2,808	▲2,645	-

※2014/3期以前は情報コミュニケーションに「その他」を含めていましたが、2015/3期より「その他」を別のセグメントとしました。

2

Nissha Confidential Proprietary

# 2015/3期 Q3

Trend Meets Technology



## 産業資材は営業黒字に転換

2015年3月期 第3四半期(10月～12月)経営成績

(百万円)

		2014/3期 Q3 実績	2015/3期 Q2 実績	2015/3期 Q3 実績	前年同期比 (2014/3期Q3比)	前四半期比 (2015/3期Q2比)
売上高		37,845	32,972	40,600	+7.3%	+23.1%
営業利益		5,733	3,569	7,541	+31.5%	+111.3%
	(営業利益率)	(15.1%)	(10.8%)	(18.6%)	(+3.5pt)	(+7.8pt)
経常利益		7,522	4,918	10,377	+38.0%	+111.0%
四半期純利益		7,094	4,177	9,230	+30.1%	+121.0%
事業別 売上高	産業資材	7,093	6,917	8,022	+13.1%	+16.0%
	デバイス	26,093	21,596	27,271	+4.5%	+26.3%
	情報コミュニケーション		4,115	4,916		+19.5%
	その他	4,659	345	391	+13.9%	+13.3%
事業別 営業利益	産業資材	316	▲125	159	▲49.7%	-
	デバイス	6,611	4,920	8,455	+27.9%	+71.8%
	情報コミュニケーション		▲236	▲131		-
	その他	▲346	▲97	▲65	-	-
	調整額	▲848	▲893	▲877	-	-

※2014/3期以前は情報コミュニケーションに「その他」を含めていましたが、2015/3期より「その他」を別のセグメントとしました。

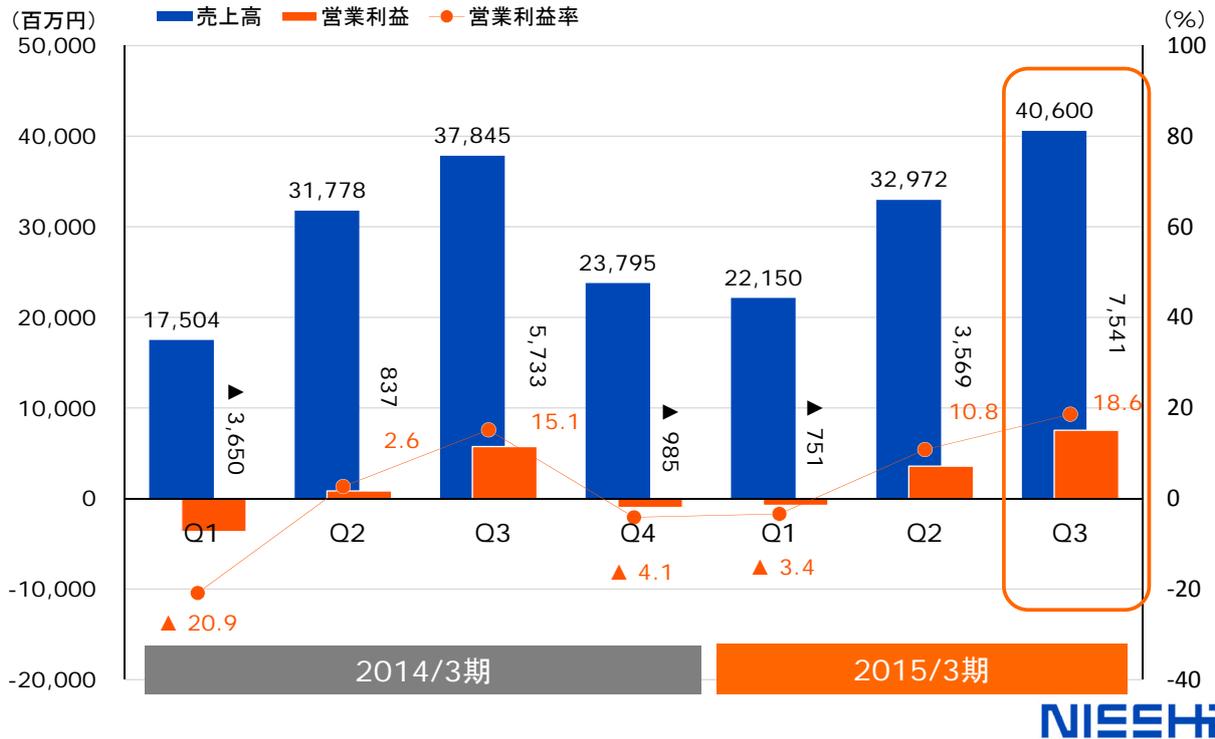
3

Nissha Confidential Proprietary



## 全社 四半期の業績推移(実績)

### Q3の売上高は過去最高、営業利益率は高水準



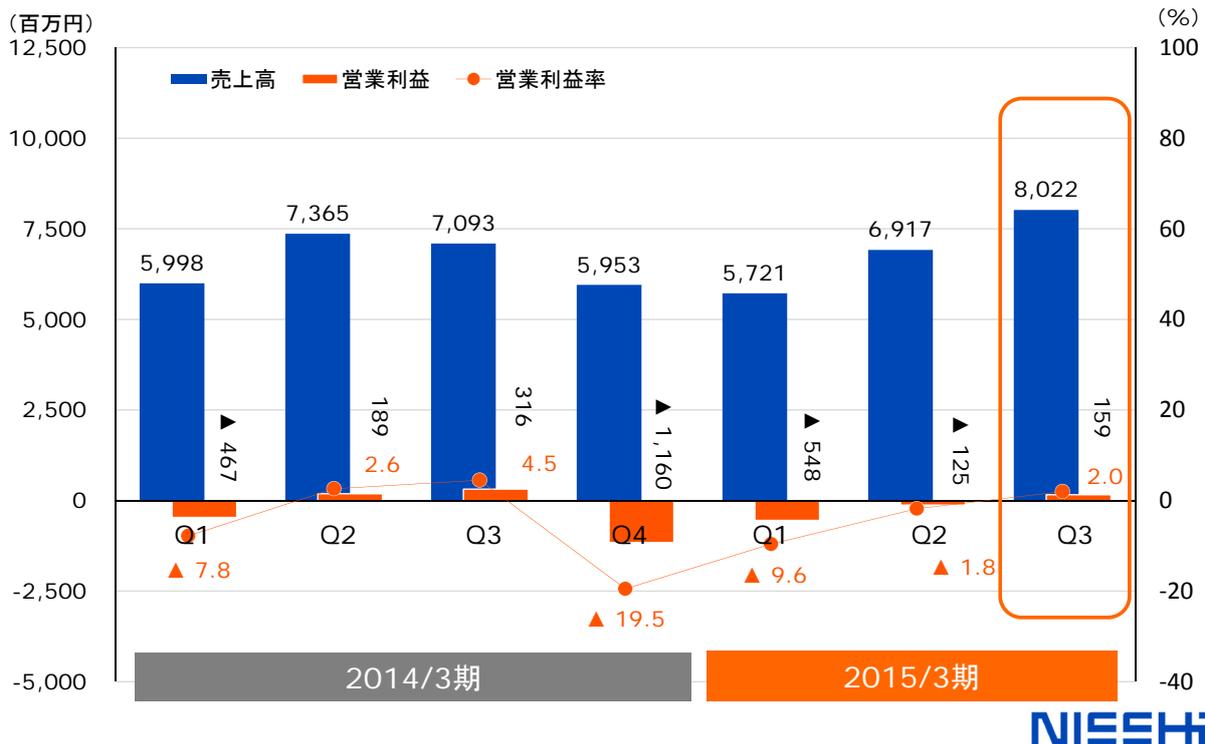
4

Nissha Confidential Proprietary



## 産業資材 四半期の業績推移(実績)

### 自動車・携帯電話が伸張、営業黒字に転換



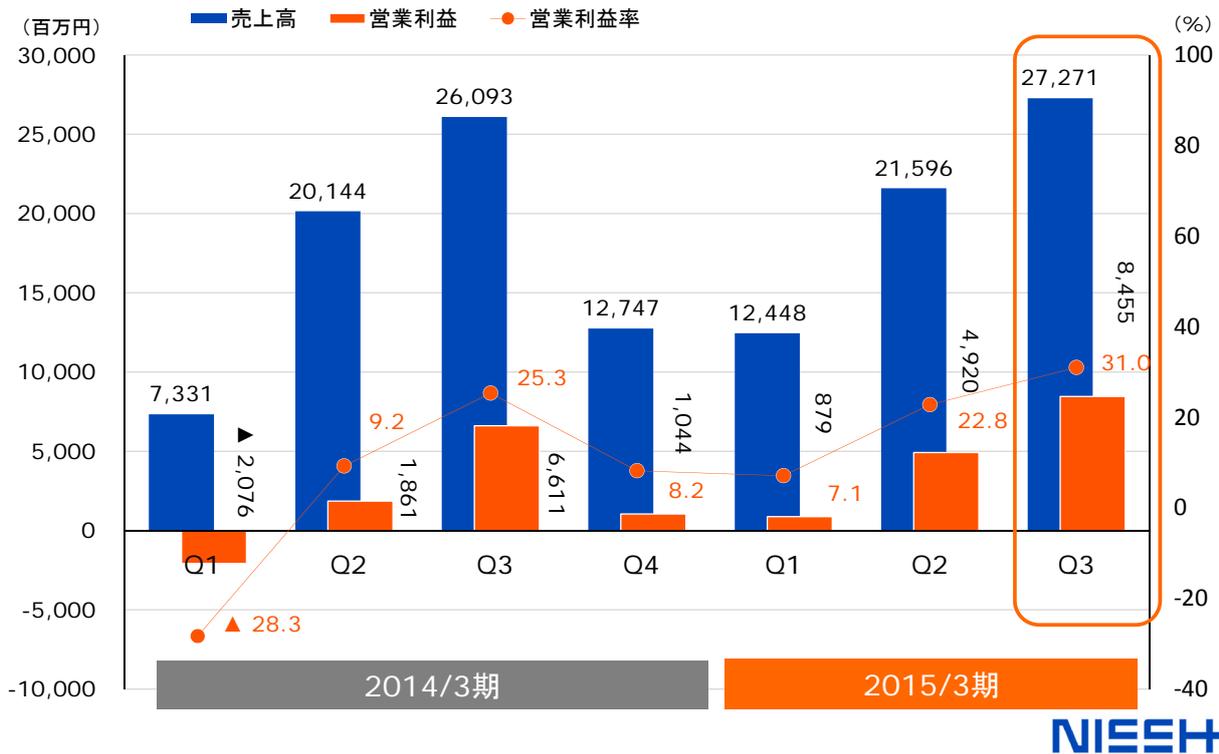
5

Nissha Confidential Proprietary



## デバイス 四半期の業績推移(実績)

### ボリューム増加、円安効果により収益性が向上



6

Nissha Confidential Proprietary



## 情報コミュニケーション 四半期の業績推移(実績)



※2014/3期以前は、情報コミュニケーションに不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含んでいましたが、2015/3期にはこれらの売上高を含んでおりません。

7

Nissha Confidential Proprietary



# 営業利益の増減分析(Q2 vs Q3)

2015年3月期Q2(7月~9月) ⇒ 2015年3月期Q3(10月~12月)

(百万円)



NISSEHA

8

Nisseha Confidential Proprietary

## 2015/3期 通期 需要動向、円安傾向を反映して修正



2015年3月期業績計画

(百万円)

	2014/3期 実績	2015/3期 前回予想 (11/6修正)	2015/3期		2015/3期 今回予想 (2/6修正)	前期比	前回 予想比
			2015/3期 H1実績	2015/3期 H2今回予想			
売上高	110,922	113,000	55,122	61,878	117,000	+5.5%	+3.5%
営業利益 (営業利益率)	1,935 (1.7%)	7,000 (6.2%)	2,818 (5.1%)	5,182 (8.4%)	8,000 (6.8%)	+313.4% (+5.1pt)	+14.3% (+0.6pt)
経常利益	5,182	7,500	4,062	7,438	11,500	+121.9%	+53.3%
当期(四半期) 純利益	3,967	5,000	3,212	4,788	8,000	+101.7%	+60.0%

## 事業別売上高

産業資材	26,409	26,500	12,638	15,862	28,500	+7.9%	+7.5%
デバイス	66,315	66,800	34,044	35,156	69,200	+4.4%	+3.6%
情報コミュニ ケーション	18,196	18,500	8,065	9,935	18,000		▲2.7%
その他 (新規事業、M&A など)		1,200	374	926	1,300	+6.1%	+8.3%

※2014/3期以前は情報コミュニケーションに「その他」を含めていましたが、2015/3期より「その他」を別のセグメントとしました。

NISSEHA

9

Nisseha Confidential Proprietary

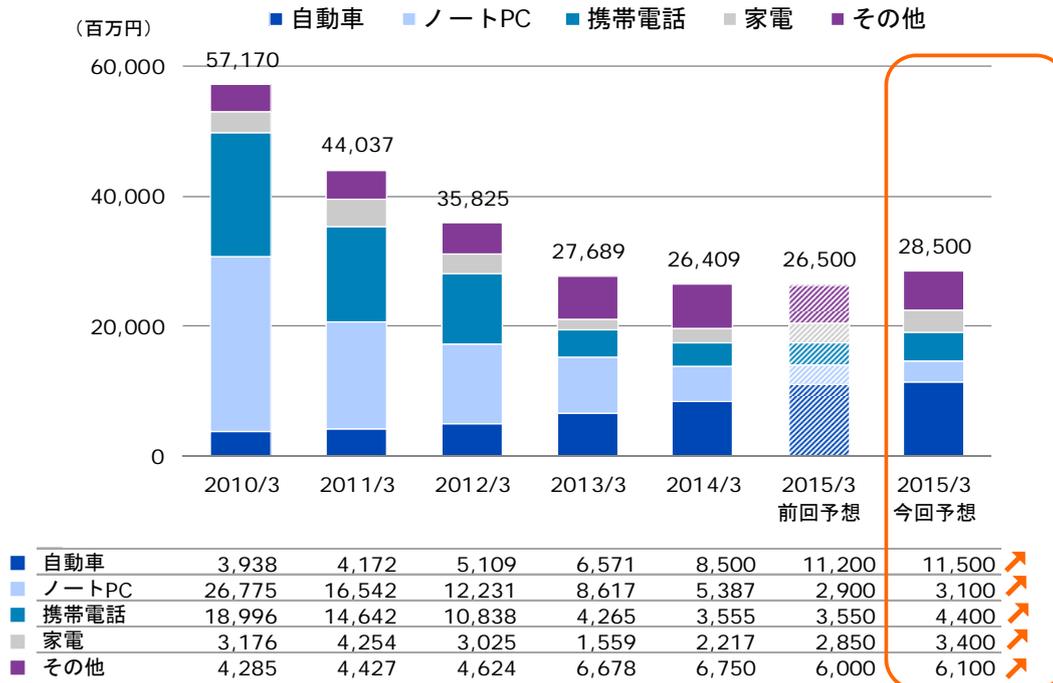
# 産業資材 用途別売上高の推移(予想)

## 自動車、携帯電話向けを中心に堅調

Trend Meets Technology



産業資材 用途別売上高の推移



NISSHA

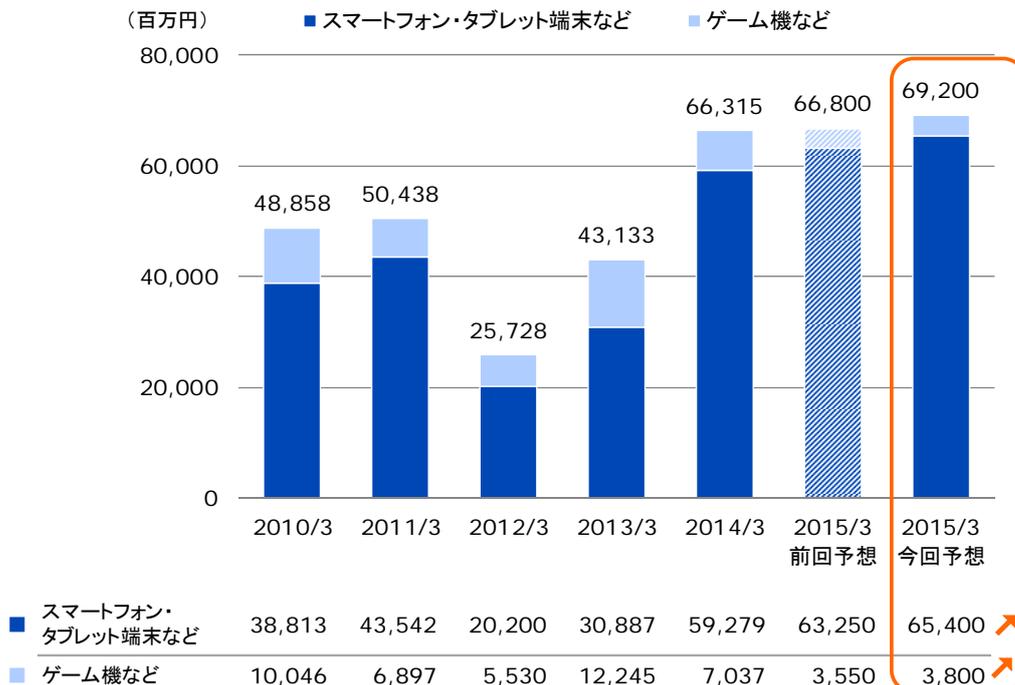
# デバイス 用途別売上高の推移(予想)

## タブレット端末、ゲーム機向けの需要が増加

Trend Meets Technology



デバイス 用途別売上高の推移

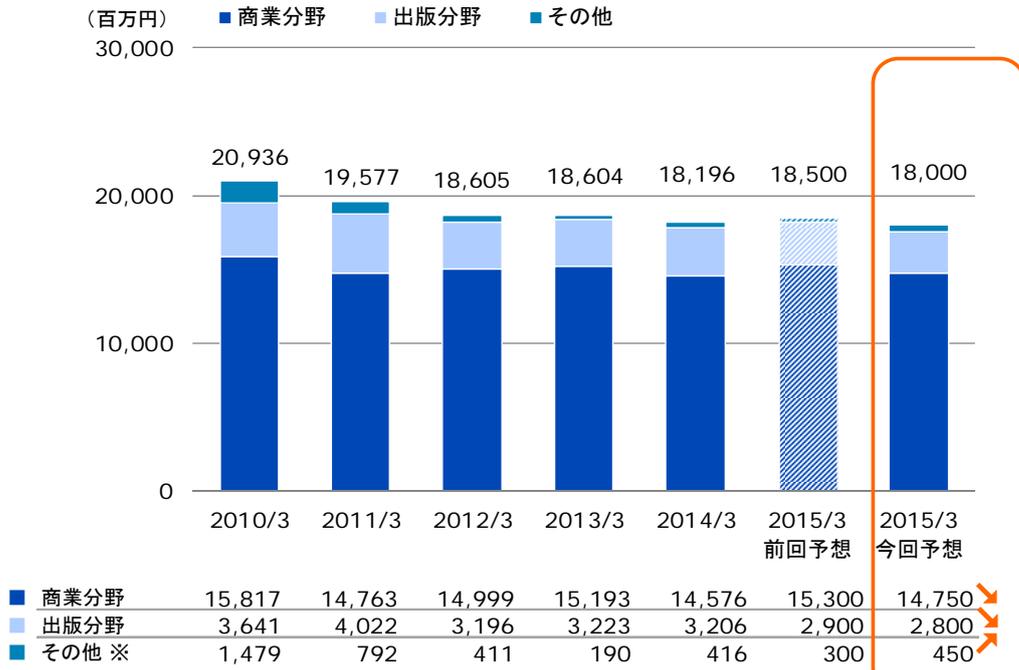


NISSHA

# 情報コミュニケーション 分野別売上高の推移(予想)

## 商業印刷が低調

情報コミュニケーション 分野別売上高の推移



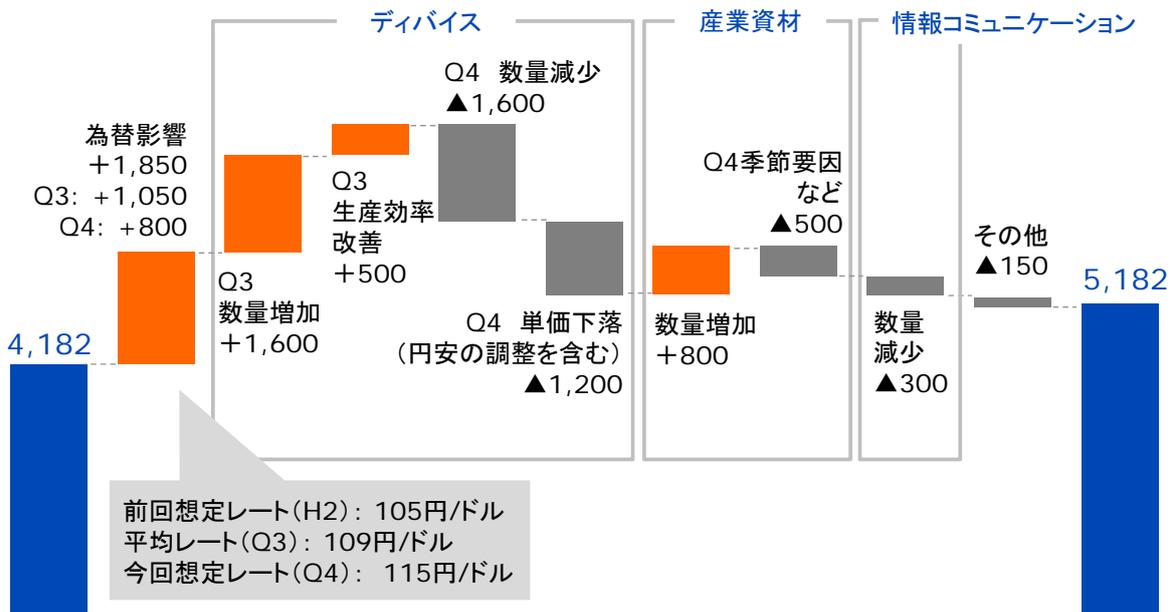
※2014/3期以前の「その他」には、不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含んでいましたが、2015/3期予想にはこれらの売上高を含んでおりません。



# 営業利益の増減分析 (H2前回予想 vs. H2今回予想)

2015年3月期H2 前回予想(11/6修正) ⇒ 今回予想(2/6修正)

(百万円)



2015/3期 H2  
前回予想

2015/3期 H2  
今回予想





## 2016年3月期へ向けた取り組み

### 既存事業の収益性改善

- 産業資材
  - 自動車・家電を拡大
  - ノートPCの固定費を削減(Inhon)
- デバイス
  - フォトリソ工法の適用範囲を拡大
  - 旧工法(抵抗膜および静電容量印刷工法)の縮小
- 情報コミュニケーション
  - 不採算受注からの撤退
  - 固定費の最適化

### 製品・市場の組み換えによる成長戦略の加速、戦略資産の獲得

- デバイス事業から得たキャッシュをM&Aおよび新規投資に活用
  - 既存事業の周辺領域に進出(垂直統合、水平統合など)
  - 従来の印刷技術と並ぶ新たなコア技術の獲得により、事業領域を拡大
    - FISを軸にガスセンサー事業を拡大

NISSHA

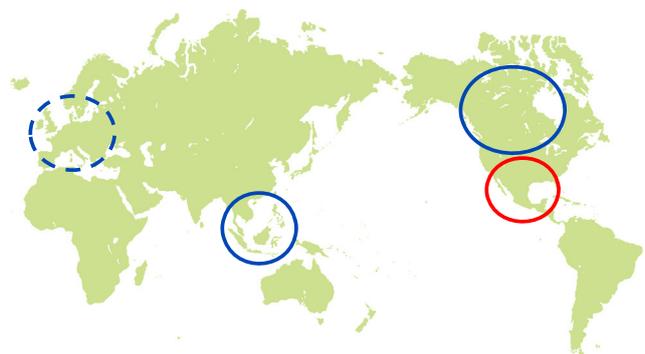


## メキシコの自動車部品成形会社を買収 自動車セグメントで垂直統合

- メキシコは北米の自動車生産集積地として成長
- 今後は中級以上のグレードの自動車向け加飾内装部品が成長する見通し
  - 同社が自動車部品業界に有する強固な販路と成形技術を獲得
  - 当社の保有する加飾技術、金型技術を同社に導入、シナジーを創出
- グローバルベースで垂直統合を推進、自動車セグメントの地理的拡大を図る

#### 自動車部品成形会社の概要

所在地: メキシコ San Luis Potosi 州  
 設立: 2005年  
 売上高: 11,910 千USD(2014年9月期)  
 従業員数: 152人  
 事業内容: 自動車向けエンジン周辺部品、内外装部品のプラスチック成形





ご清聴ありがとうございました。

# NISSHA

お問い合わせ先:

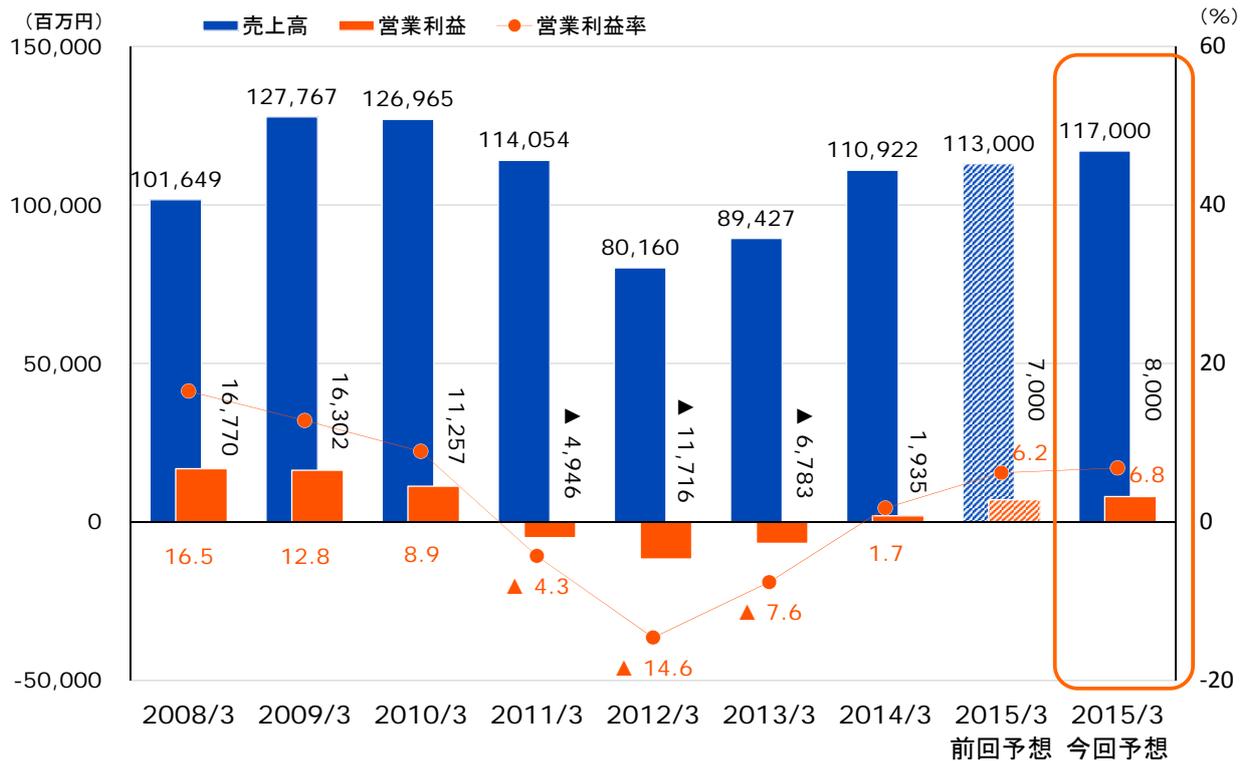
日本写真印刷株式会社

経営企画部IRグループ

T 075 823 5144(直通)

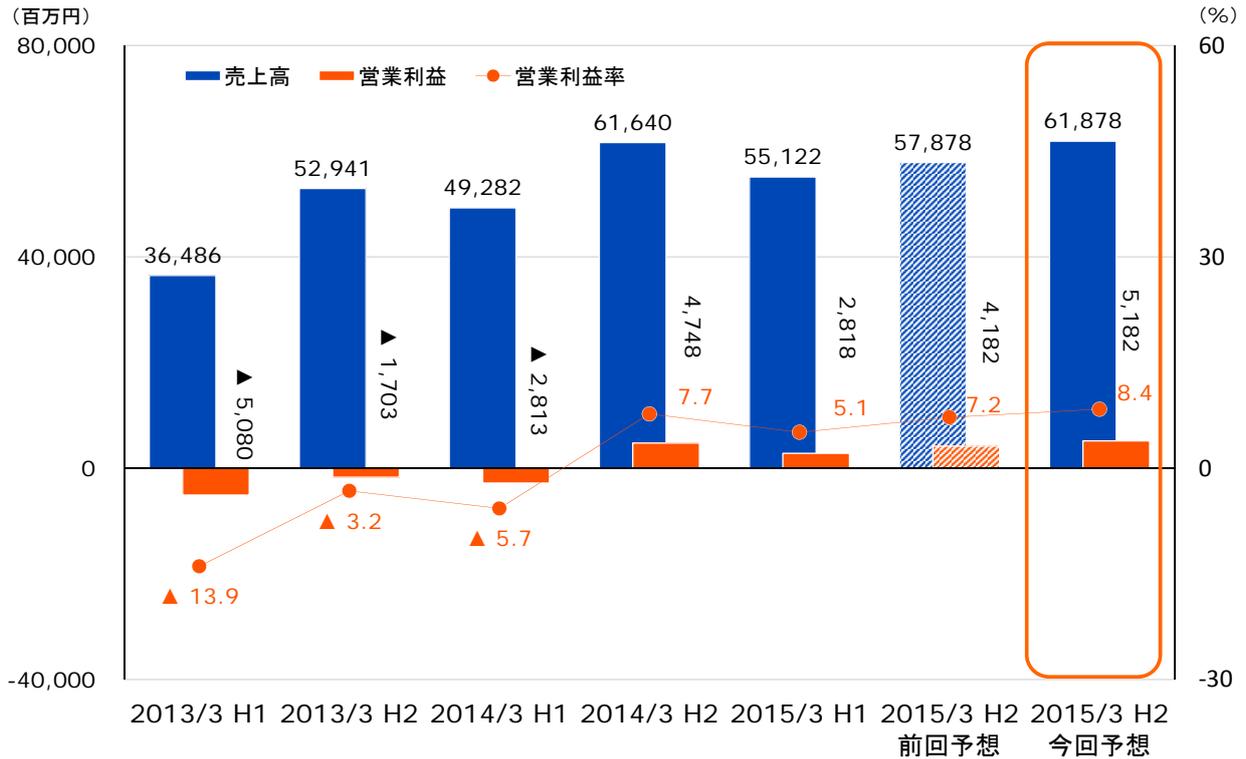
NISSHA

## 資料: 通期の業績推移(予想)



NISSHA

## 資料: 半期の業績推移(予想)



NISSHA

18

Nissha Confidential Proprietary

## 免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などのさまざまな要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 注意事項

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利は作成者に帰属しているため、作成者の事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。

- 本資料の業績数値は、特に注記がない限り、すべて連結ベースとなっております。

NISSHA

19

Nissha Confidential Proprietary